

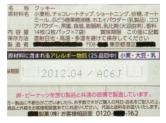
スーパーでは、1 つの店で買い物がすむようにいろいろなものが売られています。食品には、いつまで安全に食べることができるかをデす(1…? 期限)や産地名、保存の仕方などを表すラベルが貼ってあります。

また、家族のかたちの変化により、買いたいと思う食べ物やその量もちがうため、パックにつめて売られている野菜などもあります。写真は地元でとれた野菜を売っているコーナーです。このような地元でとれた野菜などを地元で消費して、地元の農家の人たちを元気にしようとする取り組みを(2…漢字4字)といいます。

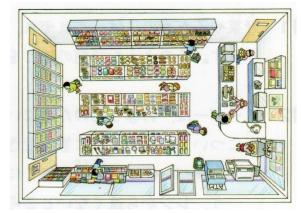
## いろいろな工夫

店では、お客さんから買いたいと思う気持ちを引き出すために、特別に安くした特売品などをお知らせするためにチラシをつくるなど、多くの人に店に来てもらうための工夫をしています。その時期にたくさん取れておいしく食べることのできる質の野菜などを店頭にならべたりもしています。また、どんな原料が使われているかを示す表示を食品に付けています。卵などの $(3\cdots pqp+1)$ をひきおこす怒れのある人にも安心して買ってもらうためです。そして、野菜などのものをつくる人のことを $(4\cdots ?a)$ といい、それを買うお客さんのことは $(5\cdots ?a)$ といいます。そして、それをつないでいるのがお店のような $(6\cdots ?a)$ です。





## コンビニエンスストア(コンビニ)



コンビニとは、(7…①小さなお店 ②24 時間営業のお店 ③便利 なお店 ①~③で答える)という意味です。

都会では夜遅くまで働く人が増えたため、手軽に弁当などを 買えるコンビニはとても便利なお店です。

そのため、全国に広まっていきました。パンやおにぎりなどは、 1日に何回もトラックで運ばれてきます。

トラックによる輸送がなければ、コンビニは成り立たないほどです。

また、ほとんどのコンビニやスーパーのレジ(キャッシュレジスタ)では、品物のラベルを読み取らせて、預かったお金を打ち込むだけでお釣りの整額が分かるようになっています。さらに、どのような品物が売れたのか、これから売れるのかをつかむために、レジとコンピュータをつないで、翌日の仕入れの品物を調整する(8…?システム)などが導入されています。

さらに、現金を使わずに、カードやスマートフォンに入っている電子データを使って支払いをする(9…?マネー)のしくみや、ラベルに付いた商品の値段などの情報を、お客さんが店の機械で読み取って、自分で支払いをする(10…?レジ)のしくみも広がっています。

○今の日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品が多くなっています。この問題を(11…?ロス)といい、買い物をするときには食べきれる量を考えて買うことが大切です。また、食品関連の企業から寄贈された食品などを集めて、福祉施設や生活に困っている人たちに配る活動のことを(12…カタカナ)活動といいます。

○右の牛乳パックのくぼみは、目の不自由な人がまちがえてお酒などを買ってしまわないように、区別するためにつけてあります。

そして、だれでも使いやすいようにデザインされたものや設備を(13… ?デザイン)といい、それを実現するための過程もふくんだことばです。













○目の不自由な人たちに危険を知らせるための(14…カタカナ)も設置され、駅のホームに転落防止のための無 やドアが付けられているところもあります。

○右上のような設達がない(15…?バス)が運行されたり、駅にエスカレーターやエレベーターが設置されたりしています。右は、目の不自由な人を助ける管導犬や、耳の不自由な人を助けるで導発も一緒にお店に入れることを表す(16…?マーク)です。このように、高齢者や障害者が生活していくうえで障害となるものを取りのぞくことを(17…?フリー)といいますが、なによりも大切なのは心の(17)です。